

3駅から始まる本庄版スーパー・シティプロジェクト

概要	市内にある3駅(本庄駅・本庄早稲田駅・児玉駅)を中心としたエリアを拠点として捉え、「コンパクト」・「スマート」・「レジリエント」によるまちづくりの実現に向けた取組みを進めるとともに、それら拠点を結ぶ幹線道路や公共交通機関のスムーズな接続により、その効果を市全域へ波及していくことを目指す。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化、高齢化を伴う人口減少の進行 ・中心市街地の空洞化等を伴うまちなかの再生 ・市民生活に甚大な影響をもたらす災害への備え

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	訪れたいくなる、住み続けたいくなるまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅を拠点とした周辺整備と地域の観光資源を活用した居心地の良いウォーカブルなまちづくり ・本庄児玉ICや国道17号本庄道路等の産業拠点やポテンシャルを活かした持続可能なまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、福祉、子育て、商業など各種機能や宅地開発の民間誘導 ・空き家、空き店舗、空き地や無人駅の利活用 ・JRとの八高線活性化に向けた連携
スマート	スマート技術が人々の暮らしを支えるまちづくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートを必要とする子育て世代や高齢世代などを支えるスマート技術や、人々の豊かで、スムーズな暮らしを支えるアプリの導入により、誰にとっても暮らしやすいまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティサービスの開発 ・アプリの導入(ウォーカブル、AIオンデマンド交通システム)
レジリエント	いつもと変わらない生活を守るまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーを活用した、ゼロカーボンシティの推進による、災害時でも途絶えることのない電源の確保を実現するまちづくり ・幹線道路の強化により、拠点をつないだ災害に強いまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーによる住宅モデルエリアの開発 ・蓄電池や太陽光発電などを活用したエネルギーステーションの設置